

【調査概要】

調査方法：インターネット調査

調査地域：日本（東京 23 区）、台湾 3 都市（台北、台中、高雄）、香港（新界）、中国 7 都市（北京、上海、広州、深圳、成都、武漢、西安）

調査対象者：20～49 歳女性

サンプルサイズ：1,940s

調査期間：日本 2018 年 3 月 19～22 日、台湾 2018 年 3 月 23～31 日、香港 2018 年 3 月 27～31 日、中国 2018 年 3 月 29 日～4 月 4 日

調査内容：

- ・基礎化粧品・化粧品の購入・使用状況
- ・化粧品ブランドのイメージ
- ・環境問題への関心
- ・深刻だと思う環境問題
- ・環境問題に関わる行動・活動の経験
- ・廃棄物分別回収の取組状況
- ・化粧品の使用済み容器処理の状況
- ・化粧品の使用済み容器回収の協力意向
- ・企業の CSR 関連取組の認知・評価 等

環境問題への関心

環境問題への関心は中国で「非常に関心がある」が 47.7%と最も高くなっています。「非常に関心がある」「まあ関心がある」では、中国が 96.5%と最も高く、次いで台湾 86.8%、香港 86.4%、日本 60.0%となっています。

日本では「どちらともいえない」が 25.0%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計は 15.0%となっています。

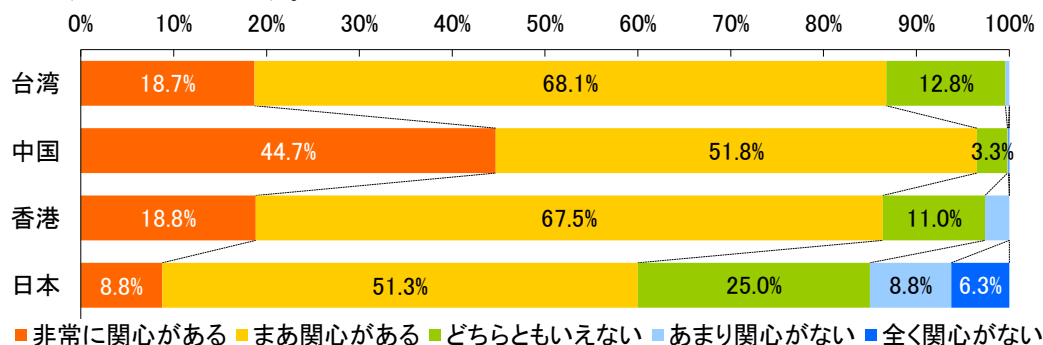


図1 環境問題への関心

基礎化粧品・化粧品の購入時の材料識別マーク確認

基礎化粧品・化粧品の購入時に裏面に表示されている容器の材料識別マーク（プラ、紙など）を確認するかどうかについては、「いつもする」と「よくする」の合計では、中国が 72.1%と最も高く、次いで台湾 52.7%、香港 42.9%、日本 27.5%となっています。

日本では「全くしない」が 33.1%と非常に高くなっています。

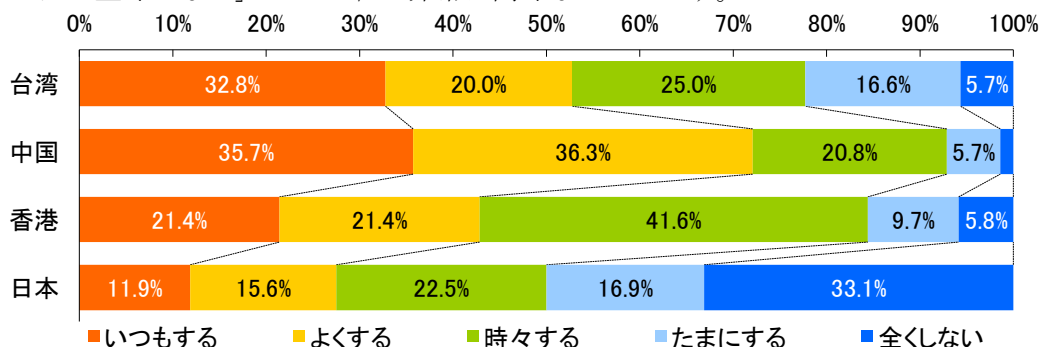


図2 基礎化粧品・化粧品の購入時の材料識別マーク確認状況

基礎化粧品・化粧品の使用済み容器回収への協力意向

基礎化粧品・化粧品の使用済み容器回収が実施された場合の協力意向は「何んでもなくても協力する」は中国が 63.5%と最も高く、次いで台湾が 46.8%、香港が 42.2%、日本が 29.4%となっています。

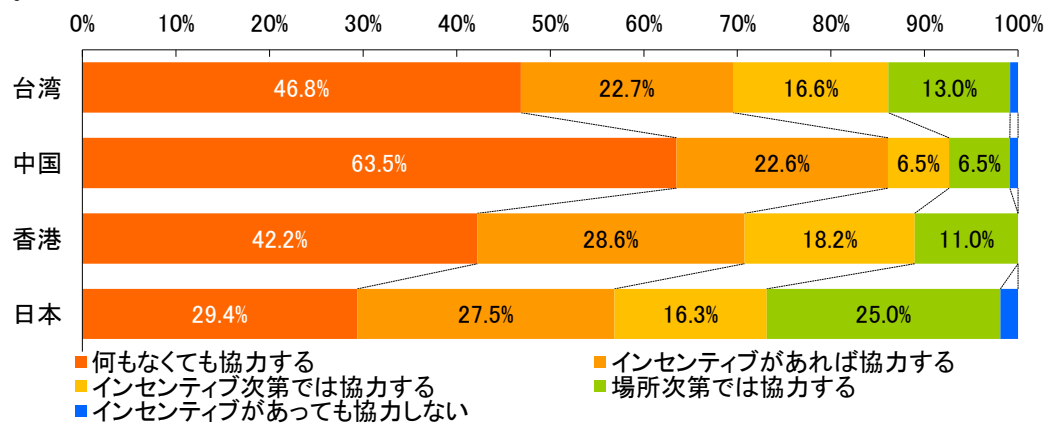


図 3 使用済み容器回収への協力意向